

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2023年1月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpine Federation

2023年 1月 1日発行 通巻357号

今年も無事故で山行を楽しもう！

＜山行計画書を必ず出してね…＞

1月号目次

・ 目 次	2
・ 新年役員挨拶	3
・ 12月理事会報告	7
・ 山行報告 クリーンハイク（千葉こまくさハイキングクラブ）	12
・ 山行報告 忘年山行：伊豆大島三原山（東葛山の会）	13
・ 集会報告 関東ブロック自然保護集会（自然保護委員会）	16
・ 緊急提言 積雪期登山注意喚起（全国連遭難対策部）	18
・ 緊急提言 年末年始の事故防止のお願い（教育遭難対策委員会）	19
・ 案内 房総ロングハイキング（ハイキング委員会）	20
・ 案内 ワンコイン講習会（女性委員会）	21
・ 1月・2月予定表	22

<ミニコラム>

『月刊機関誌(紙)はどうなるの…?』………… p. 11

『石田良恵先生の記事が「女性セブン」に掲載』………… p. 15

『山行報告』や『集会報告』の投稿をお待ちしています！

その際の『書式』は、可能な限り次の通りでお願いします。

ワード、A4、横書き、MS 明朝、12 ポイント、余白：上下左右各 25mm

『表紙用写真』も募集しています！（写真説明を添えてください）

毎月 20 日頃を目処にメールでお送り願います。

<送付先> 機関誌委員会 廣木國昭委員長 danphiro@jcom.zaq.ne.jp

<表紙写真説明>

2015 年 10 月 14 日～20 日の 7 日間で、『千葉県連創立 50 周年記念海外登山』として、『インドネシア：バリ島サンライズトレッキング』を、千葉県連の仲間 24 名で、連日深夜から登り始め山頂でご来光を拝む山旅を実施しました。

写真は、最初に登ったバトゥール山山頂にやっとたどり着きホッとした笑顔です。

① バトゥール山(世界遺産:1717m)：24 名全員登頂

② アグン山(バリ島最高峰:3142m)：12 名登頂(但し、強風のため第 1 ピークまで)

③ バトゥカル山(バリ島第 2 高峰:2276m)：10 名登頂

また、世界遺産巡り、3 大バリ舞踊鑑賞、エスニック料理、南国の海など、更に、夕餉にはローカルビール『ビンタン』を満喫しました。

(今年 2023 年は、主に千葉県連海外委員会が企画・実施しました海外登山(トレッキング)から、選りすぐりの写真をシリーズで掲載して行きたいと考えています。) (安彦秀夫:海外委員会)

2023 年 新年のご挨拶

2023 年 1 月 千葉県連 理事長 野田久生

皆様、新年おめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。昨年は、サッカーワールドカップでの日本の活躍で盛り上がりました。今年はラグビーのワールドカップがあります。ファンとしては楽しみです。しかし、世界ではウクライナ・ロシア戦争の終結はまだ目処が付かず混迷の状況です。

新型コロナについても感染者の拡大が続いており、早期の収束が待たれます。このような現状ですが、皆様元気に登山を楽しみましょう。



県連活動について

昨年度は県連活動の見える化を推進し、理事会を通じて県連活動の情報展開を積極的行って来ました。全国労山の活動についても、情報化の進展により、オンライン会議、電子データの活用など、進んできています。

昨年度の県連理事会は、オンライン会議が 7 回、対面方式が 4 回と、情報化が一段と進んできました。今後も便利なものは利用し、県連活動に有効に活用していきます。

県連組織については、役員の長期化、高齢化、空席役員補充など、役員会の充実を積極的に進める必要があります。県連活動への皆様の積極的な参画を期待します。

今年度の活動基本方針（昨年度の方針と同様です）

1. 山行活動（登山、組織運営等）を楽しみましょう。（充実感、達成感、感動の授受）
楽しむために、必要な知識、体力・技術を身につけ安全登山を心がけましょう。
2. 地域社会への貢献に寄与しましょう
千葉県連は 16 会 650 人の大きな団体です。山行活動を行いながら社会への貢献に寄与しましょう。特に最近話題となっている自然保護活動に参加し、房総の豊かで美しい自然を守っていきましょう
3. 情報化社会との共存
山行活動において、スマホ地図活用など便利な道具が出てきています。情報化の進展は今後も益々進みます。対応には難しい面もありますが、できることからトライしていきましょう。

私は、今後も年齢に合った登山を楽しんでいきます。
どこかの山でお会いした時には宜しく願いします。
会代表者、理事、役員、会員の皆様、
本年も県連活動を宜しくお願い致します。



昨年 12 月 雲取山山頂

新年のご挨拶

千葉県連盟 会長 広木国昭

会員の皆様には、山で新年を迎えた方、ご家族と楽しいひと時を過ごした方、それぞれが希望に満ちた新年を迎えた事と思います。

昨年も、コロナ禍により県連盟活動に大きな影響がありました。山に行きたくて山の会に入ったのに「山に行けない」等の声もあります。山小屋の利用やテント泊、交通の問題、マスクの着用等厳しい状況が強いられています。

この様な中で実施した「山の日記念・田中陽希講演会」には、241名の参加がありました。これは「田中陽希氏」のキャラクターに起因することも大きいと思います。

加えて、久しぶりに山仲間に出会える楽しみや千葉県連盟の取組みへの期待感も大きいと思います。改めて、山の会や千葉県連盟がどうあるべきかを実感しました。会と会員の皆様に支えられた一年でした。

今年もさらに厳しい一年になると思います。

何より気になるのは、会活動・山行はどうなるのか、県連盟は何が出来るか…です。

3月4日（土）に「会代表者・県連理事合同会議」を実施します。会の現状や問題、県連盟への意見や要求について、忌憚のない意見交換をお願いします。

そして、仲間と一緒に山行を楽しんで下さい。

何より、山に行くために入会したのですから…。

県連盟は、そのための活動に全力で取り組んで行きたいと思います。

コロナ禍に負けず、楽しい1年にするために共に頑張りましょう。

イベントを通して会員の繋がりとの和

千葉県連盟 副理事長 鶴田秀雄

みなさま 明けましておめでとうございます。

日頃の県連活動へのご協力にあたたためてお礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、特筆すべきは、夏の『山の日記念講演会』、そして、全4回のオンライン講習会が実施されたことです。内容も素晴らしかったし、参加した会員のみなさまどうしが輪を広げ、繋がりを深めたこととおもっております。私自身は、これらのイベントになにも協力することができませんでしたが、企画・実行に当たられた広木会長及び他の役員を始め参加された方々に感謝いたします。

イベントといえば、『我々の最大のイベントは山行』であります。私の所属している会は山行が活発で、全ての山行報告がメーリングリストで配信されます。ここ2年以上、山行をしていない私にとって、これらの山行報告を読むことがとても楽しく、臨場感に浸り、対面で会っていない最近の新入会員の人物像をイメージしたりしています。

こうなると県連の他の山岳会では、どんな方がどんな山行をしているのか…を知りたくなります。『ちばニュース』などで、その一部に触れることはできますが、もっと多くの方々の山行報告を読みたいです。山行報告を通して色々と想像することは、会員間の繋がりを広げる手段の一つになると思います。広く自由に山行報告が読める仕組みを作っていきたいですね。

新しい年が皆様にとって充実したものになることをお祈り申し上げます。

基本『ウィズコロナ』で！

ハイキング委員長 田中康男（ふわくハイキングサークル）

あけましておめでとうございます。

去年は、コロナに加え、雨天にたたられ、多くの企画が中止になり、ハイキング委員会としては何も出来なく、イベント開催能力も落ちたのでは…と心配しています。

そんな中であって、房総復興プロジェクト「山の日」イベントを開催し、田中陽希さんの話を聞いたことや、「全国登山研究集会」と「関東ブロック自然保護集会」に参加し、多くの仲間の話を聞き意見交換が出来たことは、有意義でもあり、組織としても、私的にも『ウィズコロナ』に踏み出せた…と思っています。

社会が『ウィズコロナ』になってきましたが、第8波も心配になっています。が、基本『ウィズコロナ』で行きたいと考えています。

新年早々の「ロングハイキング」に関しては、感染拡大で「来る・来ない」は、ご自身の判断に任せざるを得ません。又、文字どおりロングです。

お会いできますことを楽しみにしています。

平和と、皆さまにとって良い年であることを願って、新年の挨拶といたします。

新年のご挨拶

教育遭難対策委員長 伊東春正（かがりび山の会）

みなさん、明けましておめでとうございます。

コロナ禍が終息しませんが、去年、私が住む団地住民との交流・活性化のため、団地広報を通じ募集山行を3回行いました。

延べ参加人数は9名で、昔は登山をやっていたが、最近はその機会が遠ざかっている方たちばかりでした。

総じて女性のほうがお元気で健脚でしたが、なんと、その内の一人が入会しました。コロナがなければ、このような企画はしなかったと思います。

「災い転じて福となす」

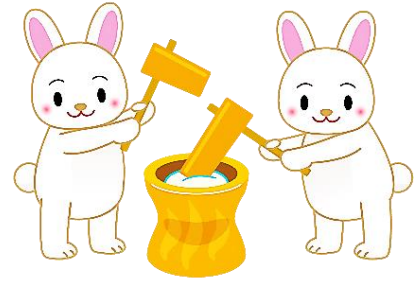
今年も、何事にも前向きに取り組んでいきましょう。

県連の仲間と世界最高峰エベレストを望む…

海外委員長 安彦秀夫（東葛山の会）

あけましておめでとうございます
本年もよろしくお願いします

コロナ禍で、千葉県連『海外トレッキング』も足止め状態が3年も続いていますが、ネパールでのトレッキングを一足先に満喫（？）してきましたので披露します。



10月下旬、成田空港を飛び立ちました。長年の夢を叶える『エベレスト街道トレッキングと5000m峰2座登頂』の海外登山の幕開けです。

バンコクで乗り継ぎカトマンズ、そして、ルクラに降り立ちました。

これからの3週間を思い、不安と期待が入り混じって緊張しています。でも、やっとエベレスト展望への玄関口に立てたことで満面笑みだらけです。

テレビや写真で何度も見た雪を抱いた山々を、右や左に見ながら、子供の頃の田舎の街並みを思い出させるような村々を通り、高山病を気にしながらも、エベレストを自分の目で見ることを願って、ゆっくりゆっくり歩きます。

途中の村で、突然、念願のエベレストの頭をちょっとだけ望むことができました。念願が叶い周りの山々はかすんでいます。でも、エベレストだけはしっかり見えます。でも、もっと近くから全体を見たい…という思いが更になりました。

遂に、カラ・パタール 5545mから、そして、ゴーキョ・ピーク 5360mから、エベレスト 8848mを眺めることができ、夢中で写真を撮り続けました。達成感・満足感そして幸福感で一杯になり、ウルウル…

ここで、目が覚めました。（残念！もっと見ていたかったな…。この続きは…）

この夢が正夢になることを願っています。コロナ禍が落ち着き、千葉県連の仲間と一緒に、この秋に実現できることを願っています。一緒に行きましょう！

話はガラリと変わりますが、1年前の新年の挨拶で書きました全く個人的な目標の『日本百名山全山複数回登頂』は、1座も前進できずに『残り32座』で足止め状態が続いています。田中陽希さん…とは行かないまでも、この目標を夢には終わらせたくないな…と、最近強く思うようになりました。

今年こそは…と決意し熱く燃えているのですが、現実はどうなることやら…。

『目標達成が先か、歩けなくなるのが先か…』

干支のウサギさんに助けられながら亀のようにゆっくりゆっくり着実に歩みを停めずに山に向かいたい…と願っています。

(2022/12/28/Wed.)

千葉県勤労者山岳連盟 2022 年 12 月 理事会議事録

議事録作成者：栗坂（君津）

日 時： 2022 年 12 月 15 日（木）19：00～20：50

場 所： 船橋市西部公民館 2F 会議室

参加者一覧（2022 年度）

県 連 理 事		○	松宮（市川）	○	栗坂（君津）代理	○	吉武（かがりび）
○	深草（あびこ）	○	藺田（ちば）	○	西岡（ちば）	○	五木田（こまくさ）
○	羽鳥（東葛）	○	酒井（船橋）	○	田中（ふわく）	×	今井（茂原）
○	渡邊（松戸）	×	西村（まつど遠足）	○	小林（山翠会）	×	豊田（らんたん）
○	佐藤（らんたん）	×	戸石（民医連）	○	荒井（岳樺）		
県 連 役 員		○	広木（会長）	○	野田（理事長）	×	鶴田（副理事長）
×	菅井（自然保護）	○	伊東（教遭）	○	安彦（海外）		
全国連役員		○	石川（副理事長）	×	山本（理事）		

○：出席、×：欠席 理事と役員兼務の場合は理事の方に記載

議 事

1. 理事長挨拶（野田）

本年度最後の理事会です。今年 1 年間理事会活動をありがとうございました。

理事会開催実績：11 回（船橋西部公民館 4 回、オンライン 7 回）

冬山のシーズン到来です。安全登山に注意し、冬山を楽しみましょう。

新型コロナ感染者数が全国で 1 日当たり 17～8 万人になり第 8 波となってきました。これから年末年始にかけて注意が必要です。感染に注意してお過ごしください。尚、インフルエンザにも注意を願います。来年も元気にお会いしましょう。

2. 役員会報告（広木）

- ・12 月 1 日（木）ZOOM オンライン役員会実施 14:00～17:00
- ・来年 3 月実施の「合同会議」の実施準備などを協議

3. 各委員会報告

1) 教育遭難対策委員会（伊東）

①事故報告

i) 団体名：松戸山の会

日時：2022 年 10 月 29 日

場所：杓子山 不動の湯付近

事故者：65 歳 女性

状況：下山時、倒木の上で滑り足を捻って転んだ。

傷病名：足首骨折

事故の原因：転倒

救助要請：なし（自力下山）

パーティー人数：11 人

* 事故報告は事故発生後、速やかなにお願いします（報告受理日：11/30）。

ii) 団体名：千葉こまくさハイキングクラブ

日時：2022 年 12 月 11 日

場所：我孫子市香取神社境内（個人山行）

事故者：75 歳 女性

状況：ウォーキング中

傷病名：大腿骨骨折

事故の原因：転倒

＊現時点では、個人山行でのウォーキング中の事故については、労山基金の対象に含めず…との見解（全国連）。（詳細を確認中）

②11/28 教遭委員会開催

・今年度の総括

・次年度計画

教遭委員会主催でクライミング講習会を開催予定

2) 自然保護委員会（野田）

・関東ブロック自然保護集会を 11 月 26 日（オンライン）に実施しました。

参加者：22 名（千葉県連：11 名、他地方連盟：11 名）

コロナ禍にもかかわらず自然保護運動の原点ともいえるクリーンハイクを積極的に実施してきた…との報告がありました。

3) ハイキング委員会（田中）

2023 年 1 月 28 日（土）ロングハイキング（東金駅～土気駅）の実施準備中。

会ごとに参加者を纏めて 1 月 10 日までに、田中までにメール送付する。

歩く時間が長く、ほどほどにきついコース（15 キロ、7 時間程度）で、エスケープルートとして大網駅に向かうルートを設定している。

＊離脱者の扱いなどを更に検討する余地があるのではないかと…との意見あり。

→理事会終了後、理事でハイキング委員が 4 名いるので相談する。

4) 組織委員会（野田）

12 月 6 日（火）に、オンライン委員会実施。今後の方針について協議した。

今年度はあまり活動ができなかったため、来年度は当初予定に基づき実施する。

2 年に一度の各会の状況調査を来年度後期に実施する。

5) 女性委員会（広木）

・第 4 回オンライン講習会（12/22）開催に向けて講師と打合せを実施（12/6）。

・委員に参加要請を行った。

6) 海外委員会（安彦）

12 月 8 日（木）Zoom で委員会を開催→今年度活動総括と来年度活動方針の確認。

① 海外トレッキングはコロナ禍で計画できなかった。

- ② 情報交換・発信の一つとして、第2回オンライン講習会（10/27）で、酒井委員（船橋勤労者山の会）が『ピサンピーク（ネパール）登山報告』を実施。
- ③ 『ちばニュース』表紙を、1年を通して海外トレッキング写真で飾った。
- ④ 海外委員会をZoomで4回開催（1/13、2/10、9/8、12/8）。
- ⑤ 来年2023年秋に、コロナ禍の状況を見ながら海外トレッキングを企画予定。
- ⑥ 情報交換・発信を何らかの形で継続していく。
→海外登山に抱く不安（例：高所順応、体調不良等）について、現地での具体的な対処方法等を示し、不安を軽減・解消して参加できるように情報発信を行う。

7) 機関紙委員会（広木）

2023年合同会議に向けて具体的な活動を展開して行きます。

4. 役員会からの連絡（野田）

- 1) 2023年合同会議予定（9月理事会と同じ内容です。確認のため再度連絡します）
来年58期は総会ではなく、合同会議（各会代表、理事、役員参加）を行います。
日程：2023年3月4日（土）13:00～15:00 ZOOM利用によるオンライン会議
内容：活動方針の内、内容が変更したものの報告、会計報告、監査報告を行う。
会計監査の選任を行いますので、協力お願いします。

2) 全国連・県連行事参加時の「県連より支給する経費」について確認

- ①会員が講習会などに参加する場合に県連より補助される経費は、県連の予算内での対応となるので、参加費補助金額等については、役員会でその都度確認し、理事会の了承を得て決定する。

5. 全国連からの情報展開（野田）

- ①全国連来年度のカレンダー申込案内が来ております。発注は各会で直接全国連へ早めに申し込んでください。申込の取りまとめは昨年に引き続き深草理事（岳人あびこ）にお願いしています。各会で発注部数を取りまとめて、全国連盟と深草理事に連絡をして下さい。1,000円/部です。
12月理事会時に廣木会長が料金徴収します。（広木会長説明資料参照）
＊昨年に比較し申し込みが半減している。（魅力がなくなっている…？）

②第30回関東ブロック「雪崩事故を防ぐための講習会」

日 程 2023年1月21日（土）9:00～22日（日）14:00
場 所 谷川岳天神平及び白毛門登山口・土合山の家周辺
締 切 2022年12月31日
参加者 岳人あびこ 2名→3名参加に変更

③来年開催全国評議会

2023 年 2 月 18 日（土）～19 日（日）府中で開催。

千葉県連からは、評議員 1 名（野田）が参加します。

④会員数の報告依頼（連盟費に関係しますので注意してください。）

12 月 15 日理事会時点で未報告の会は至急連絡をください。

⇒12 月 25 日までに全国連に提出します（担当：野田）。

⑤来年の労山カレンダー誤植の訂正の連絡（11 月理事会で説明済み）

p. 10 と p. 25 （誤）千ノ倉山 ⇒ （正）仙ノ倉山

6. 各会理事からの活動状況報告

① 東葛山の会

今年で創立 45 周年、会員数 53 名（男 21 名 女 32 名）、平均年齢 72 歳。

会山行は月 3 回（メンバーの力量等に合わせ）。女性の参加が 6～7 割。

男性高齢者の退会が目立つ。

会の規約が長い間メンテされていないので、実態に即して見直し中。

例会の開催日時を第 2 水曜日 18：00-20：00 から第 2 日曜日 14：00-16：00 に変更した（会員の高齢化に伴い、夜間の歩きを極力減らすためなど）。

② 船橋勤労者山の会

3 年間で 75 名の会員が半減。29 歳と 32 歳の男性が入会した。

平日休みの会員は、土・日の会山行に仕事の都合で参加出来ない場合が多く、会山行を 4 人位で実施することもある。

③ ふわくハイキングサークル

会員数は 64 名であるが高齢化が進んでいる。

会山行も「山」から「里」へと向かっている。

7. 全国連理事からの連絡・情報提供等

石川 昌 副理事長（船橋勤労者山の会）

① 全国レベルで見た各地方連盟の状況は、高齢化、若い会員が増えないなど危機的な状況と言える。特に、関西では金銭に関する意識が強いようだ。

② 山岳 4 団体で「コンパス（登山アプリ）」の共同運用をすることに合意した。

- ・都道府県・市町村への登山届の代わりとなるものである。
- ・山の会に属さない一般登山者には便利なツールとなる。
- ・各会で作成（使用）している山行計画書との連携は無い。
- ・詳細が不明なため、出席者より質問が多数あった。

③ 本年の事故件数は 300 件を超えている。特に多いのは、高齢者の転倒事故である。無理をせず安全な登山を心掛けて欲しい。

8. 今年の県連オンライン講習会の計画について（伊東）

①11/24 第3回オンライン講習会 実施

テーマ：ココヘリの紹介

13名が参加、資料は県連HPに掲載

②12/22 第4回オンライン講習会 予定

テーマ：山には90歳までは登りますよね！

講師：石田良恵先生

参加申し込みは12/15（木）まで。

（注）URLトラブルはあったものの、講師と事務局を含めて45名の参加で終了しています。（編集子）

9. その他協議・連絡事項

1) 2023年度理事会予定

1月理事会 19日（木）オンライン理事会

2月理事会 16日（木）オンライン理事会

3月理事会 16日（木）オンライン理事会

※状況により理事会の開催方法は変更の場合があります。その都度連絡します。

以上

ミニコラム＜月刊機関誌(紙)はどのようなの…？＞

月刊誌『登山時報』は廃刊し、今年2023年より『季刊誌:登山時報』として発行されることが決まっています(2022 ちばニュース 12月号掲載)。

それでは、月刊誌(紙)としては、何がどのような形で発行され、どのような方法で全会員に配布されるのか…が、なかなか公表されませんでした。

そのような時に、『労山 ROUSAN ニュース』第43号(2022年12月)の1面の片隅に、関連記事が小さく掲載されていました(添付『お知らせ』参照)。

この記事だけでは、詳細は不明ですが、これまでの情報などから推察して、全国連盟から毎月、機関紙として『電子媒体』を基本として発行し無料で配布されることが分かります。また、希望すれば、紙媒体でも配布されることが分かります。

電子媒体の具体的な配布方法は、『全国連盟→千葉県連盟理事長→各会代表者・理事→各会会員』というルートで行われると考えています。決定はしていません。

詳細については、全国連盟からの連絡がないので、分かり次第、役員会や理事会で報告するとともに、会員の皆さんにご協力をお願いすることになります。

2023年から月刊紙として全会員向けに毎月発行(無料)することになっています。名称は、「JWAF journal」(月刊・ジャーナル)ということで検討しています、会員に届ける方法は紙媒体(会・クラブ経由)および電子媒体で行うことになっています。

お知らせ

尚、月刊機関紙の名称も、この機会に変更になるようです。早急に電子媒体と紙媒体の配布方法などが公表されることを心待ちしています。(編集子)

第6回花見川クリーンハイク報告

千葉こまくさハイキングクラブ

日 程：2022年11月11日（金） 晴 参加者20名

親睦を兼ねた房総クリーンハイクは、今年もコロナ禍の為に中止になりましたが、会員が多数居住する千葉市花見川区の花見川クリーンハイク（年1回）は、今年で6回目の実施となりました。

花見川区役所をスタート地点に、2班に分かれて10時に出発し、瑞穂橋から亥鼻橋間の1時間45分程の活動です。

6回目ともなると参加者の手際も良くなり、車輪付き運搬道具を持参する者、事前に下見をしてゴミの多い場所を重点的に清掃する者など、創意工夫が見られ短時間でも効率的な清掃活動となりました。



<結果>

ゴミ回収の量は、下の表の通りで、思った以上の量となりました。

可燃ごみ	不燃ごみ	合 計
90.6 kg (19 袋)	82.3 kg (20 袋)	172.9 kg (39 袋)

活動終了後は、持ち寄った手作りの野菜や漬物などを囲み、野外の広場で昼食会。コロナ禍で鬱屈していた気持ちを仲間たちとの会話等で発散させ、気持ちをリフレッシュできた1日でした。

（こまくさ自然保護委員 五木田啓文）

伊豆大島:三原山お鉢まわりと島内一周バス観光(その1)

(火山砂礫ハイクを楽しんだ後は、超巨大バームクーヘンを食べに行こう！)

2022 年 12 月 16 日(金)～18 日(日) 前夜発 1泊 2 日の船旅 & 山旅

安彦秀夫 (東葛山の会)

コロナ禍で、東葛山の会恒例の忘年山行(雪上ハイク、温泉宿泊)は中断したままでした。更に、多くの参加者での宿泊会山行も、思うように実施できない状況が続いていました。

今年は、自由に海外登山もできないことも加味して、例年と趣を変えて、『船』を利用しての『ミニ海外忘年山行』を企画・実施することにしました。

目的地は、伊豆大島の『三原山』と山麓の『大島温泉ホテル』です。

コロナ新規感染者数が落ち着き、このまま終息(収束)の方向に向かってくれるのでは…と期待したのですが、現実はそうはいきませんでした。ということで、予約日(9/13)から出発日(12/16)まで、やきもきする日が続きました。

12月に入り、長期天気予報を連日チェックしていましたが、なぜか『17日(土)だけに☂』が付いているではありませんか…！

山行企画・提案(8月)から実施(12月)までの約4ヶ月間を振り返ります。

山行部会(9/7)で、提案通りの日程(12/2～4)が承認され、9月例会(9/11)で、忘年山行の概略を説明し、おおよその参加希望人数を確認しました。

まずは『大島温泉ホテル』に電話(9/13)をし、予約をしようとしたのですが、『希望日12/3は満室』ということで、スタート時点から波乱の幕開けになりました。

何とか、2週間後の日程(12/17泊)で30名(6室)の予約ができホッとしました。直ぐに、日程変更の案内を幹事始め会員にメールで連絡をしました。(後で調べたら、希望日は、大島マラソンの開催日でした)

次いで、『往復の船便』を予約しなければなりません。『東海汽船』に電話(9/16)を入れ、相談をしたところ、『正式予約は乗船日の2ヶ月前から』ということでした。

船内から携帯電話が使用できるか…を始め、団体料金、料金支払方法、乗船名簿、キャンセル規程、連絡先メールアドレスなどを確認し、30名での仮予約(?)をして、2ヶ月前の『10月16日(日)』を待つことにしました。

当初の案では、『17日(土)に三原山ハイキングで、翌日18日(日)午前中に、ホテル近くの噴火口跡散策』としていましたが、島内の見どころ、特に『地層大切断面(バームクーヘン)』を是非見たい…という要望があり、18日(日)午前中に、バス

を貸切り島内一周観光の検討を始めました。

『大島バス』にメール問合せ（10/4）をし、4 時間での『島内一周お薦めコース巡り』のバス見積りをお願いし、メールで見積書を送ってもらいました。

有料施設 2 ヶ所が入っていたので、費用削減と時間を考え、私から訪問先を指定して再見積もりをお願いし、新たなコースと料金が提示されました。

正式予約方法、支払い方法、キャンセル規程などを確認し、後日、改めて電話およびメールにて正式予約をしました。

『会費をできる限り安くしたい…』という思いがあり、大島温泉ホテル、東海汽船、大島バス、三原観光タクシーの 4 社と、電話とメールを駆使し交渉および情報を入手し続けました。

併せて、『全国旅行支援』の適用可否について、何度も相談をしました。

その結果、次のようになりました。

① 大島温泉ホテル

先ずは、『6 室』を予約しましたが、一時、参加希望者が『33 名（男性 10 名、女性 23 名）』になったので、『7 室』に変更しました。その後、4 名がキャンセルになり、『29 名（男性 8 名、女性 21 名）』になりましたが、『7 室』は変えずにいました。

『全国旅行支援』の適用を受け、宿泊料金 12,250 円の 40%が割引となり、更に、土曜日宿泊ということで、クーポン券 1,000 円が付くことになりました。

尚、全国旅行支援の適用を受ける為に、参加者から『コロナワクチン接種済証（3 回以上）』のコピーを事前に提出してもらうとともに、出来れば写真入りの『身分証明証（原本）』の準備・持参もお願いしました。

更に、帰りには、ホテルの送迎バスで港まで送ってもらうことにしました。

② 東海汽船

『三原山ハイキング&絶景温泉：ダイナミックに火口一周！三原山お鉢回り&樹海コース：8,000 円』という『金曜日夜発日帰りプラン（添乗員同行）』があり、これを利用できないか…を交渉しました。因みに、このプランには、『往路大型客船（特 2 等）・復路ジェット船、朝食、温泉入浴（朝・昼 2 回）、昼食、路線バス』の全ての料金と保険も付き、添乗員も付く…という魅力的な内容でした。

但し、このプランの募集定員は 35 名なので、私達が 30 名で予約をしてしまうと他の客に影響を与えると考え、特別枠で、且つ、復路のジェット船を 1 日遅らすことを交渉し、難航したものものの了解を得ることができ 30 名で予約をすることができました。

更に、登山口（三原山山頂口）以降は、保険の対象から外れることを了解した上で、離団して歩くことをお願いし認めてもらいました。

③ 大島バス(正式な会社名:大島旅客自動車株式会社)

18日(日)大島温泉ホテルを8:00に出て、泉津の切通し、波治加麻神社、筆島、波浮港(散策)、地層大切断面を巡り、12:00に戻ってくるコースです。

ガイドはいないので、バスから降りた後は、運転手からのアドバイスを頼りに私達のみで観光をすることになります。料金は、82,890円(税込)です。

尚、ホテルから港までの移動も見積もってもらいましたが、思っていた以上の金額だったので、利用を諦めました。

④ 三原観光タクシー(正式な会社名:三原観光自動車株式会社)

18日(日)の帰りの『ホテルから港までの移動』について悩みました。

参加希望者が一時『33名』になり、ホテルの送迎バス(定員26名)に乗り切れず、ホテルの紹介で、『ジャンボタクシー(定員8名)』を手配しました。直前に、参加人数が『29名』になったことで、『中型タクシー(定員4名)』に変更しました。

尚、東海汽船と大島バスの料金は、出発日の1ヶ月前に全額(この時点で32名)を支払いました。その後にキャンセル者が3名ありましたが、『出発7~2日前』でのキャンセルをした2名が、東海汽船の規程に定められたキャンセル料(30%)を支払うことになりました。

コロナ新規感染者数が増える傾向にありましたが、29名全員が『竹芝旅客ターミナル』に集合時間21:00前に全員が揃い、先ずはホッとしました。

団体受付を済ませ、『プランA』の添乗員2名と行程や注意事項などを確認した後、参加者に乗船券(大型客船:特2等)を配布し、乗船時間を待ちました。

いよいよ出港です。続きは次号で…。

(2022/12/29/Thu.)

ミニコラム<石田良恵先生の記事が「女性セブン」に掲載>

12月22日(木)開催の『2022第4回オンライン講習会』の講師をしていただきました石田良恵先生の記事が、『女性セブン(2022年12月1日号)』に、5ページに亘り掲載されています。

今回の講習会の受講生から情報をいただきましたので、皆さんに紹介します。

詳細は、是非、本を読んでくださいね。

多くの受講感想等が届いていますので、県連HPに近日中に掲載します。(編集子)



関東ブロック自然保護集会 報告

千葉県連 自然保護委員会委員長 菅井 修

コロナ渦の中、Zoom で行われた集会を報告します。

日 時：11月26日（土）14：00～17：20

参加者：栃木県2名、 埼玉県2名、 東京都1名、 群馬県1名、 茨城県2名、
神奈川県2名、 全国1名、 山梨0、 千葉県11名 （合計22名）

（千葉県連からは、自然保護委員、県連役員、県連理事が参加しました。）

報告方法：事前に提出されたレポートのZoom画面共有

14:00 接続開始

14:15 開会挨拶 参加者の紹介 千葉県自然保護委員会委員長 菅井 修

14:25 千葉県勤労者山岳連盟理事長挨拶 野田 久生

14:30～ 各地方連盟からの報告（主な報告事項）

① 栃木県

足尾植樹 避難小屋点検・清掃 クリーンハイク 2019～2022 の報告

② 埼玉県

東北支援 足尾や埼玉県高篠峠での植樹

埼玉県内の登山道整備の要請と整備 メガソーラー問題

③ 東京都

クリーンハイク 自然観察会 三つ峠アツモリソウの保護活動

④ 群馬県

谷川岳クリーンハイク 南牧村で県民ハイク

⑤ 茨城県

クリーンハイク

⑥ 神奈川県

丹沢クリーンハイク 丹沢水質調査結果

⑦ 千葉県

・ 労山千葉県連の今までの活動として

追原ダム建設阻止運動 鬼泪山山砂採取阻止運動

鴨川メガソーラー設置反対運動

・ コロナ渦でのクリーンハイクの実施

千葉こまくさハイキングクラブ

岳人あびこ（クリーンハイクと自然観察会）

・ 房総の山復興プロジェクトの今後の活動

各地方連盟からの報告で特徴的な事は、コロナ渦での困難な時期にもかかわらず、自然保護運動の原点ともいえる『クリーンハイク』を続けていることだった。

15：45～15：55 休憩

15:55～ 質問・意見交換

質問・意見として、神奈川県の水質調査、チバニアン、森林伐採後の植樹、足尾植樹、茨城の竹取物語などが出ました。

その後、いくつかの県で行われている自然観察会で、身近な野草・野鳥・地質などの自然観察会が紹介され、登山と自然保護の関係が大きな話題となりました。

主な議論は次の通りです。

- ① 登山時間を気にして登るのではなく、自然の中をゆっくりと自然を観察しながら登ることが自然を考え、好きになり、自然保護につながる。
- ② 山を歩くことは山の土砂を踏むことで、登ることだけで山に対し軽度ではあるが負荷を与えている。花の写真を撮るため登山道から踏み出すことは、自然破壊である。珍しい花の写真を公表すると数年後にはなくなってしまう。
- ③ 登山道の階段は登山者のためではなく、山を守っていると考えべき。
多少歩きにくいだろうが階段部分を登るべき。
「我々登山者は山に登らせてもらっている」、「なるべく山に負荷を掛けないような登山をする」という考え方が重要である。
等の議論が交わされました。

これに関連し、筑波山に関して次のような発言（報告）もありました。

- ④ 裏筑波の植生保護のため男の川（おのかわ）・女の川（めのかわ）コースが、登山禁止になった。
- ⑤ 女体山頂で弁当を食べることは不可。
- ⑥ 足利の山火事などから、バーナーの使用は指定地で行うように。
御幸ヶ原の一角だけが使用許可となった。など

17:20 閉会挨拶（順次退室）

大きなトラブルもなく、
無事終了しました。

<関連情報>

東葛山の会会員から、『筑波山』
山行計画書が提出されたので、
調査を依頼しました。
場所：御幸ヶ原『コマ展望台』の隣
（女体山側）だそうです。
撮影日：2022年12月29日（木）

2021年3月下旬から実施されている
ようです（インターネット情報）。
詳細は、是非現地に行って確認を
お願いします。（編集子）



年末年始の積雪期登山事故と転倒事故防止について

2022 年 12 月 15 日

日本勤労者山岳連盟
遭難対策部

2022 年に入り 1 月・2 月の二か月で 4 名が亡くなり 12 月 15 日現在、登攀や沢登りを含めて 7 名の死亡事故が発生した。またハイキングや縦走では、転倒事故が多発しその殆どが骨折を伴う事故に繋がっている。今年の事故者数は、12 月 5 日現在コロナ以前の 300 人を超過し歴代のワースト記録に迫っている。年末年始の積雪期登山、ハイキング、縦走登山での事故防止に努めるようお願いしたい。

今年 1 月から積雪期登山の事故が多発している。遭難対策部での検証の結果、総合的な力量不足を重大視している。パーティー内での個人の体力や力量を把握できないうえに技術的なミスが重なり、さらに天候判断を誤り危険回避する行動が選択できたにもかかわらず、安全策を取らずに進んでしまった事が残念な結果に繋がった事故が多い。年末年始の積雪期登山では、慎重な判断のもと無理な行動を避け、余裕のある計画を作成し安全登山を心掛けていただきたい。また登山中に心筋梗塞を起こしたことによる死亡事故も発生している。心疾患がある会員はより慎重な計画を用意し、同行者に疾患の内容を知らせるよう努めていただきたい。

それぞれの事例では、下記の事項が教訓として報告された。

- ・積雪期登山の体力と判断力/各自の体力や知識の不足
- ・山行計画の行動時間/ルート上の積雪状況判断が不適切
- ・悪天予報を認識していない行動/天候の変化に対応できない
- ・天候悪化による道迷い
- ・ピバーグ用装備の不携帯/装備の確認が不十分
- ・積雪期登山の技術不足
- ・日頃からの体調管理ができていない
- ・ネットでの情報を安易に利用する

上記の内容を十分に考慮し登山を行っていただきたい。新型コロナ規制緩和や全国旅行支援による社会活動の活発化にともない、登山回数も増加している状況ではあるが、高齢による基礎体力の低下、日常生活での運動不足も転倒事故の一因に繋がっていると考えられる。特に下山中の転倒事故が多発している。わずかな転倒が重大事故につながる報告も多いことから、これを防止するためにも、下山時にはより慎重な行動を互いに確認し、滑る場所の確認を怠らず木の根や倒木に躓かない歩行に徹する、滑りやすい岩や浮石には特に注意を向けるなど、転倒事故を防ぐ登山を実施してほしい。

年末・年始の事故防止のお願い

理事長 野田久生、教育遭難対策委員長 伊東春正

■ 事故増加

千葉県連の事故発生件数は、一昨年4件、昨年5件と減少していましたが、今年は13件とコロナ禍前の件数に戻っています。全国連でも同じ傾向となっています。

『登山機会が増えると登山事故も多くなる…』という連鎖を断ち切るため、無理のない登山計画をたて、体調管理をしっかり行って登山しましょう。

■ 転倒事故

今年の転倒事故は8件と相変わらず多く、健脚者でも、疲れていなくても転倒事故は発生しています。

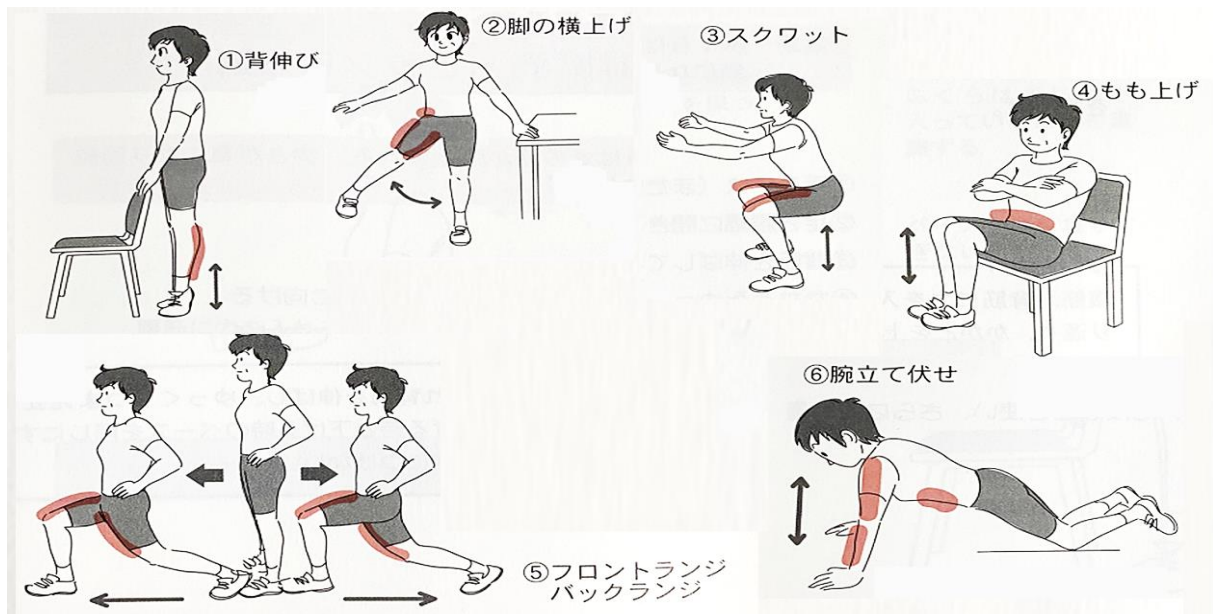
転倒事故では必ず骨折しており、長期の治療を要します。

第4回オンライン講習会(12/22)の「山には90歳までは登りますよね!」で、講師の石田先生は、次のようにおっしゃっています。

・転倒は事故ですか? いいえ、身体機能低下の結果です!

・登山での転倒事故予防は『筋トレ』が不可欠です!

みなさん、転倒事故防止を目的にして『山筋ゴーゴー体操』を継続実施しましょう。



■ 雪山事故

千葉県連で今年2月、上州武尊山で雪底を踏み抜き滑落、救助に向かったリーダー共々一晩ビバークし、翌朝地元救助隊に救助される事故が発生しています。

悪天候の中を強行したことが、事故原因の一つに挙げられています。

『雪山は、晴れば天国、荒れば地獄』ということを肝に銘じ、的確に状況を判断して、決して無理な行動はしないでください。(2022/12/28/Wed.)

第37回 房総ロングハイキング開催案内

JR 東金駅→大網駅(日帰り・雨天中止)

『関東ふれあいの道：千葉県8』（地図をインターネットよりダウンロードできます）

歩行時間が長いので、当初予定ゴール『土気』駅を『大網』駅に変更！

2023年1月28日(土)JR 東金駅集合・JR 大網駅解散

コース： 首都圏自然歩道 千葉県8（東金駅～大網駅）

歩行： 6時間強（休憩含む） 下見では、時間がかかりました。ロングです

参加者： 各会5～6名程度（各会で行動） 間隔開けて行動 マスク必携

移動： 電車利用

費用： 交通費 約1,000円（千葉駅から往復）

<当日行動> JR 千葉駅5番線

千葉駅7:33発 →（外房線 成東行き）→ 東金駅8:09着

<コース予定時間>（関東ふれあいの道）

徳川家康ゆかりの地 鷹狩場と東金御殿 御成り街道など作った所

8:15 東金駅出発

⇒ 8:20 八鶴湖・最福寺

⇒ 9:10 日吉神社（杉並木が綺麗）

⇒ 10:00 コンビニ（直角に曲がる 近くに八幡神社）

⇒ 10:50 雄蛇ヶ池（公衆トイレあり）

⇒ 12:10 小西 正法寺（葵の紋 たたずまいが良い トイレあり）

⇒ 13:50 越谷（迷いやすい場所 シンプルに歩く予定）

歩き疲れた人は、路線バスの利用もあります

14:35 15:05 15:35 15:50（下見のメモ）

※お薦め： 途中にコンビニ・飲食店あり、約35分で着きます。

⇒ **14:25 大網駅着（予定）**

※帰りの電車： 大網発 千葉行き 15分～20分間隔であります

<問合せ・申込先> 田中康男(ハイキング委員会委員長)

TEL:090-8331-6858、Eメール:dbz05434@nifty.ne.jp

<申込締切> 2023年1月13日（金）午後6時

☞ 参加申し込みは、各会で纏めて行ってください(Excel希望)。

☞ 天候や道路事情によりコースの変更があります。

☞ 地図を少し持って行きます。



ワンコイン講習会案内

主催：千葉県連盟女性委員会

高齢者の転倒事故は、なぜ多いのか？

その要因と対策を学び、山行を楽しみませんか！

- ・実施日：2023年2月19日（日）13時～
- ・会場：船橋市西部公民館2F 第1・2会議室
- ・講師：石田 良恵 先生
- ・参加費：ワンコイン（500円）

一生、山に登るための体づくり

石田良恵 Yoshie Ishida

新装版

何歳からでも始められる筋トレ・ストレッチ

80歳、現役。 定年後に山登りを始め、全国で指導を行う研究者の実体験から生まれた体と向き合う方法

毎日/
15分のトレーニングで
免疫力を高め、コロナに負けない体づくり!

従来の筋トレを進化させた、高齢者必見のトレーニングと栄養学そして水分補給のテキストです。

- ・送料込：1,400円（定価：1,650円）
- ・申込先：千葉県連 広木 国昭 (danphiro@jcom.zaq.ne.jp)

県連活動予定表

1月			2月		
日付	曜日	県連活動予定	日付	曜日	県連活動予定
1	日	元日	1	水	
2	月	振替休日	2	木	役員会（ZOOM）14：00～
3	火		3	金	
4	水		4	土	
5	木	役員会（ZOOM）14：00～	5	日	
6	金		6	月	
7	土		7	火	
8	日		8	水	
9	月	成人の日	9	木	
10	火		10	金	
11	水		11	土	建国記念の日
12	木		12	日	
13	金	ハイキング委員会（ZOOM）19：00～	13	月	
14	土		14	火	
15	日		15	水	
16	月		16	木	理事会 19：00～
17	火		17	金	
18	水		18	土	
19	木	理事会 19：00～	19	日	ワンコイン講習会(石田先生)
20	金		20	月	
21	土		21	火	
22	日		22	水	
23	月	教遭委員会（ZOOM）, 房総プロジェクト	23	木	天皇誕生日
24	火		24	金	
25	水		25	土	
26	木		26	日	
27	金		27	月	教遭委員会（ZOOM）
28	土	房総ロングハイキング	28	火	
29	日				
30	月				
31	火				

事故発生時の連絡先

各委員会は、25日までに予定を連絡ください。

●事故一報は事故発生後一か月以内に！

●全国連盟と県連教育遭難対策委員会の両方にメールまたはファクスで！

全国連盟事務局

県連教育遭難委員会

メール： jwaf@jwaf.jp

メール： itou2385@yahoo.co.jp（伊東）

ファクス： 03-3235-4324

メールのみとします

連盟費の振込先はこちら！

郵便振替口座 00160-3-481509

（ゆうちょ銀行 〇一九店 口座番号0481509）

千葉県勤労者山岳連盟

発行者： 千葉県勤労者山岳連盟

発行責任者： 広木国昭

住所： 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室

電話： 043-306-1190

E-mail： rousanchiba@grape.plala.or.jp

HP： <https://www.cwaf.jp>

事務所に常駐者はいません